

日本子ども安全学会 第4回大会  
**重大事故が起きる前に考える  
リスクマネージメント**

野外活動中に発生した  
遭難事故の調査・分析を手がかりに

プラムネット株式会社 アウトドア共育事業部

渡辺 直史



# 検証にあたった事故の概要

時期：今年 4月下旬

場所：団体施設から車で30分のところに  
登山口のある 標高300m余りの山域

時刻：午前10時30分

状況：3～5分ほどの見まもりの隙間に、  
子ども2名（4歳、5歳）を見失う。  
警察と応援に来た職員で搜索。  
3時間後に別の登山道で2名を発見。

⇒ **生命・身体にかかわる事故には至らず…**



# 検証にあたっての3つの視点

環境要因

子ども要因

引率者要因



# 第三者検証チームのプロフィール

## 検証者 1 (渡辺)

アドバイザー：山岳ガイド、子ども安全管理士

小児救命救急法インストラクター、冒険教育インストラクター、  
子どものアスカキャンプ<sup>®</sup> 他、登山の引率実績多数

## 検証者 2

ライフェーバー、保育・スポーツ専門学校講師  
学童保育で海や山での活動を行う団体の代表

## 検証者 3

保育歴28年、医療保育士、子どもの  
発達講座 講師、アウトドア活動にも精通

環境要因

子ども  
要因

引率者  
要因



# 第三者検証チーム 2つの役割

提言者

ファシリ  
テーター



# 第三者検証チーム 2つの役割

野外活動の専門家の  
立場から…

明らかに危険につながる  
運営や、かかわりの指摘

提言者



引率者の  
スキルアップなど  
「やり方」の改善

# 第三者検証チーム 2つの役割

第三者の立場から…  
安心の場づくりによる  
率直な情報・意見交換  
と、気づきの促進



引率者の  
意識改革など  
「あり方」の変化

ファシリ  
テーター



# 検証から実施までのプロセス

メールでのヒアリング、  
現場検証の打ち合わせ

現場検証  
現場でのヒアリング

事故要因の洗い出し  
改善策の検討

計画の見直し、保護者への説明  
安全な登山の実施

環境要因

子ども  
要因

引率者  
要因





# 今回の検証の成果（抜粋）



提言者

「やり方」の改善

ファシリテーター

「あり方」の変化

# 今回の検証の成果（抜粋）

提言者

安全な運営の  
スキルアップ

## 「やり方」の改善

- 子どもと引率者の人数や比率を改善。
- 見まもりの隙間を作らない運営。  
（引率者の配置、役割分担、点呼など）
- 積算高度計算による、子どもへの負荷の調整。
- 連絡手段の確保（無線機の導入など）
- 子ども体力、体調、発達に配慮した運営。
- 体力差が出た時は遅い者に合わせる。（並び順）
- 緊急時の対応と役割分担。

# 今回の検証の成果（抜粋）

ファシリテーター

子どもに寄り添い、  
子どもと共に…

## 「あり方」の変化

- ・ **“スピード、体力作り”重視から“山の楽しさ”**へ登山活動を始めた当初のねらいに立ち戻り、職員間でこれを共有する。
- ・ 事前に子どもたちとも、危険予知や緊急時の対応を学ぶ機会を持つ。
- ・ 引率チームとして連絡を密にとり、運営にあたる。
- ・ **子どもと職員、みんなの力で、安全で楽しい山登りをつくっていく…**



# 重大事故が起こる前に、 第三者と検証を行うメリット

重大事故

責任の所在  
誰が悪いのか？

過失の有無  
法的責任は？

情報開示されず、  
繰り返される事故？

重大事故に至らずに済んだ  
事故・ヒヤリハット

事故原因の究明  
何が事故の要因か？

予防に向けた  
垣根のない情報交換

スキルアップと再発防止へ！

# 専門性を持った第三者と 検証を行う3つのメリット

## 専門性

- 依頼者が検証を通じて専門知識を学ぶことができ、対策に活かせる
- 報告書や説明会での説得力が増す

## 客観性

- 一歩引いた立場、異なる視点からの検証が得られる
- 依頼者だけでは気づきにくい要因にも気づける

## 公平性

- 当事者同士では踏み込みにくい部分にも、必要なら踏みこめる
- 立場を超えた本音を引き出しやすい



# どんな時、第三者と 検証を行うとよいか

ケガ  
あり

- ・ 事故により被害者が救急搬送されたり、入院したり、長期の受信が必要になったりした時
- ・ 例) 熱中症や骨折など

ケガ  
なし

- ・ 一時的な行方不明
- ・ 長期受診や後遺症、命にかかわったかもしれないヒヤリハットが2回以上繰り返される時

第三者との検証を推奨



**ご清聴ありがとうございました**



# プラムネット株式会社 アウトドア共育事業部

〒221-0844

神奈川県横浜市神奈川区沢渡1-2

菱興高島台 第3ビル 4F

TEL : 045-312-6016

FAX : 045-312-6077

わたなべ なおふみ

[watanabe@plumnet.jp](mailto:watanabe@plumnet.jp)

渡辺 直史